

J-ストース[®]結合金具

仕様 ・ 取り扱い説明書



(社) 日本消防放水器具工業会

あらし

阪神淡路大震災や出光苫小牧タンク火災等の大規模化する火災に対し、我が国において現在のところこれに対処すべく各消防機器、送水機器の検討が進められています。

当工業会におきましては責任あるメーカーの立場と致しまして、呼び150 から300までのホースによる送水のいかなる場合におきましても、安全で確実に消防ホースが結合できる金具の研究・開発を目的に専門委員会を設置し、検討を進めてきました。

その結果、新たに呼称Jストーズ金具を開発しました。

貴消防隊でのご活用お願いいたします。

1. 特長

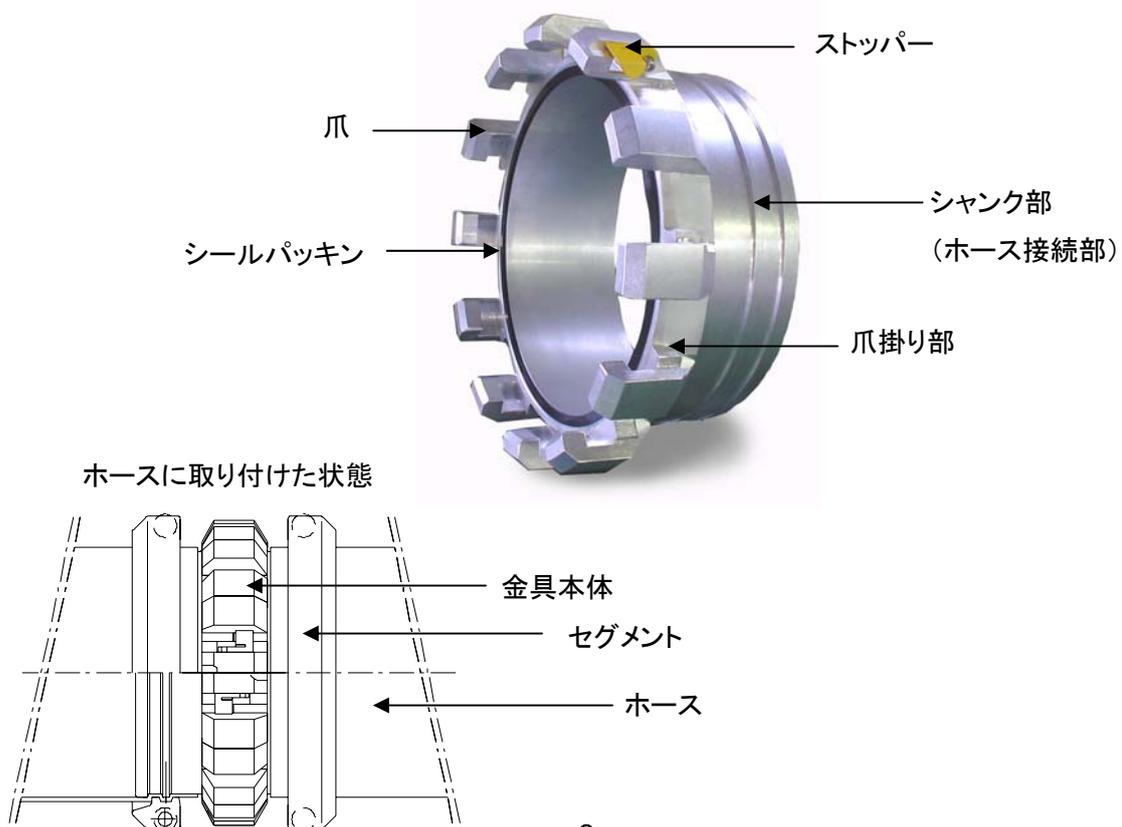
- a. 迅速・確実な金具結合が可能です。
大口徑にもかかわらず、安全で確実な結合作業が出来ます。
- b. 確実なシールです。
独特のシール形状で、漏れをシッカリと防ぎます。
- c. コンパクト・軽量です。
金具本体は一体構造で、大口徑にも関わらず、コンパクトかつ軽量（約 10Kg/1組）です。
- d. シンプルかつ頑丈なデザインです。
ハードな消防活動の取り扱いに耐えるように、爪結合面は常に外傷から守られるようにデザインされています。

2. 構造・結合原理

金具本体は、耐蝕アルミ合金の一体構造です。

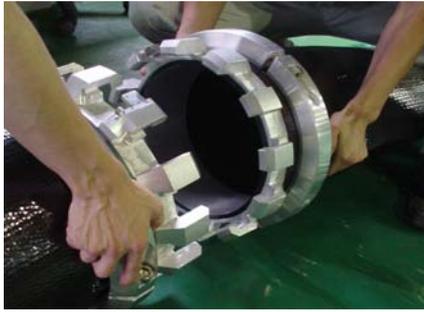
結合は、金具同士の爪が噛み合うように差込み、更に約 10° 余り捻る事で結合されます。

更にストッパーがカチッと食い込むことで、金具の離脱を防ぎます。



3. 結合・離脱方法

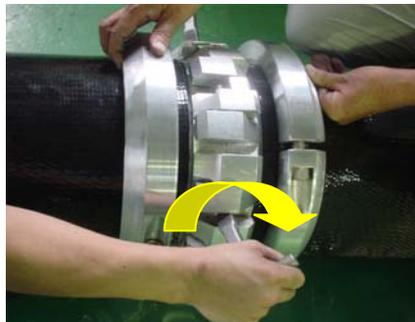
- a. 接続するホース金具の爪同士がかみ合うように、差し込みます。



- b. 金具を押し付けながら、両手にドライバーを持ち爪と爪との間の2ヵ所にドライバーを差し込みます。（差し込み場所は、金具本体の爪部にラベルで指示されています。）



- c. 差し込んだドライバーを捻るとことで、金具の爪同士は噛み合います。更に安全ストッパーが、カチッという音と共にかみこみます。これで結合は完了。



- d. 離脱

両金具のストッパーを持ち上げ、ドライバーを爪の側面の隙間（結合時に差し込んだ隙間の反対側）に差し込み、このドライバーを捻ると金具は一緒に離脱されます。

ストッパー

